

時間外勤務削減のための業務改善をすすめる意向

越教組ニュース

越谷市教職員組合
情宣部
18.4.11(火)
Tel 988-3281
Fax 988-3283

回答の概略

負担削減のための具体的方策を明言

民主的運営…教職員の相互理解のもと適切な学校運営推進に向け働きかける。

負担軽減…

- 夜間留守電・校務支援システム・夏季休業中の閉庁日・部活動の休養日等取り組む。
- ICカードによる勤務実態の集計結果を検討し、削減目標を検討。
- 市の「部活動ガイドライン」に見合う活動を計画するよう指導する。
- 越谷小体連主催のサッカー大会は、過度の負担にならないよう各校の主任を通して指導。対外体育的行事はカリキュラムマネジメント検討委員会で協議する。
- 土曜授業・夏季休業日短縮は現時点で計画はない。
- 教員の事務作業をサポートするスタッフ配置を小1校・中1校をモデル校としてどんなサポートが良いか検証していく。

教頭・教務・主幹教諭の授業…各学校の実態に応じ、適切に指導に当たるよう指導する。

ハラスメント防止…要綱にそって、機会ある度に周知徹底・防止を管理職に指導している。

ストレスチェック…今後も実施し、実施率向上に努めたい。

代替教員の配置…当然のこととして特段の努力をしていきたい。

点数主義に陥らない…学力テスト等の数値目標を設置したり、順位を公表するなど、競争を煽るようなことはしない。

三月八日(木)、越教組は、市教委と来年度の教育行政についての話し合いを持ちました。今年のメインは、負担軽減の具体策についてです。四五分間という短い時間でしたが、組合の要求について回答がありました。その後の質疑についてもお知らせします。

(組合) 負担軽減について来年度の取り組みは何か。
(市教委) 来年度の負担軽減の取り組みとして、

- ・夜間留守電
- ・校務支援システム
- ・夏季休業中の閉庁日
- ・部活動の休養日を行う。

(組合) 市の衛生委員会でも聞いて、負担軽減に動いていると感じている。
(組合) 教職員の休憩時間はICカードでチェックはできない。休憩時間確保ができていないのか。負担削減についてスピード感をもつてやってほしい。

(組合) 超過勤務の削減目標を、六月に調査した数値をもとに数値化できないか。
(市教委) (超過勤務の削減目標の数値化は)今の時点では考えていない。六月の調査は貴重な資料だが、二週間という短い期間の調査だ。忙しいとき、比較的余裕がある時期等、総合的に判断するには資料不足だ。

負担軽減については、やれることは直ちにやるという思いで取り組んでいる。様々な取り組みを今年度中に公表したのもそのためだ。委員会としても強い意志で取り組んでいる。

代替教員の確保に最大限の努力をする

(組合) 代替教員の配置は当然のことだが、今は産休や育休といった事前に分かっていない場合でも配置されない事がある。現状を教えてほしい。

(市教委) 臨時的任用候補者が圧倒的に少ないことに驚いている。特に去年今年度は顕著だ。小学校教員の免許状を持つている人がほとんどいない。中学校免許状から学校の務めている方も多数いる。中学校では教科によっては一人の登録もない。

(組合) 今現在、未配置の数ほどのくらいか。
(市教委) 今、数値は持っていないが、一件や二件でないことは確かだ。

(組合) 教員のブラックな働き方が影響しているのではないか。
(市教委) 少なくとも窓口に来て断るときにそう言う人はいないが、「民間に決まった」と咳く人は増えている。

(組合) ただ「いない」で過ごしてしまっているといけない。確保する範囲を広げて確保してほしい。

(市教委) 県教育委員会に代員を探すよう要請したり、すでに教職を離れてしまっている方にも働きかけている。大学にも声をかけて人材発掘をしていく。

(組合) 年齢的に産休・育休の教員が増える。学校に複数いる場合もある。来年度は配置できるか。
(市教委) お子さんが生まれることは喜ばしいことだ。代替配置については、今後も努力していく。

(組合) 県教委では代替えが確保できないことをどうとらえているのか。
(市教委) (県教委に)いろいろな場面で声を大にして言い続けている。県の取り組みとして、大学で説明会をし、積極的に臨時的任用教員に登録を呼びかけたりにしている。現実に現場に「穴」が開いていることに申し訳なく思っている。

(組合) 臨採者の待遇改善とか、業務の削減とか、県

(市教委) ストレスチェックは、教職員自身のストレスへの気づき・その対処の支援、並びに職場環境の改善を通じてメンタルの不調の未然防止のため、今後も実施していく。校長会への啓発資料を作成し、実施率の向上を目指す。

集団分析結果は、学校毎の結果を校長に提供し、衛生委員会等で職場環境の改善に生かすよう指導する。

(組合) 実施率は今回五九%。特に中学校は低い。実施率向上に努めてほしい。

各学校の集団分析結果はまだ届いていないが、
(市教委) 今準備中。カラ一刷りして近日中に届ける。

(組合) 結果が届くのが遅い。早まらないか。
(市教委) 希望者への面接指導等も含めると、集団分析結果はこの時期。なるべく早く届けたい意向はある。

(組合) 年度内に集団分析結果をいかに難しい。
(市教委) 来年度にいかし

越教組定期大会
5月12日(土) 13:30~
今年の方針について話し合いましょう。

で臨採者を確保するためにできることはある。定数内臨採も解消できるのではないかと。組合としても定数改善など、県との交渉で訴えていく。

このニュースの内容については教育委員会と組合が確認したものです。